

シックハウス対策に係る確認申請書式の記載方法

以下にシックハウス対策に係る確認申請書式の記載方法を列記します。詳細については、担当者にお問い合わせ下さい。

1 換気計画

- (1) 各階平面図等に、換気計画及び通気経路を明記して下さい。
 - ・居室と廊下等の間に換気経路を設ける場合、換気ガラリについてはガラリ部分 100 cm^2 程度以上、アンダーカットについては 1 cm 程度以上の開口を確保して下さい。
 - ・引き戸、ふすま及び障子については 2 枚以上のもの（開口部が一間程度以上）は、周囲に十分な隙間が存在するものとして、換気計画上一体として扱います。
- (2) 換気計画上一体的になっている部分（以下「換気計画部分」）ごとに、換気種別、床面積、天井高、部屋容積、換気回数、必要排気量、設計換気量を「必要換気量計算表」に明記して下さい。
 - ・天井高さの算定においては、換気計画部分ごとの容積を当該床面積で除したものを天井高さとして扱います。

2 内装仕上げ

- (1) 「建築材料一覧表」に使用する建築材料及び種別（F☆☆☆等）を記入して下さい。
- (2) 施行規則第 1 条の 3 でいう「使用建築材料表」は、別に定める様式を使用することとし、換気計画部分ごとに作成して下さい。
 - ・規制対象外材料（F☆☆☆☆等）のみを使用する場合も、「使用建築材料表」にその旨を明記して下さい。尚、その場合建築材料面積の使用制限の計算は不要です。
 - ・作り付け家具等で「使用建築材料表」のみでは面積の確認が困難な場合は、展開図等を添付して下さい。

3 天井裏等

- (1) 天井裏等に関しては、居室と当該居室に係る天井裏等を区画する連続した気密層等の有無及び下地材、断熱材その他これらに類する面材に用いる建築材料の種別を明確にし、「必要換気量計算表」の「天井裏等」欄にご記入下さい。

必要換気量計算表

階数	部屋名	換気種別	①	②	③=①×②	④	⑤=③×④	⑥
			床面積 ㎡	天井高 m	部屋容積 ㎡	換気回数 回/h	必要換気量 ㎡/h	設計換気量 ㎡/h
合 計								
天井裏等								

建築材料一覧表

記号	建築材料	種別	記号	建築材料	種別

$$N_2S_2+N_3S_3 \leq A$$

N₂: 次の表の(一)の欄の数値

N₃: 次の表の(二)の欄の数値

S₂: 第二種ホルムアルデヒド 発散建築材料の使用面積

S₃: 第三種ホルムアルデヒド 発散建築材料の使用面積

A : 居室の床面積

居室の種類	換気	(一)	(二)
		住宅等の居室(※1)	0.7回/h以上(※2)
	その他(0.5回/h以上 0.7回/h未満)(※2)	2.8	0.5
住宅等の居室以外の居室	0.7回/h以上(※2)	0.88	0.15
	0.5回/h以上 0.7回/h未満(※2)	1.4	0.25
	その他(0.3回/h以上 0.5回/h未満)(※2)	3	0.5

※1 住宅等の居室とは、住宅の居室、下宿の宿泊室、家具その他これらに類する物品の販売業を営む店舗の売り場をいう

※2 換気について、表に示す換気回数の機械換気設備を設けた場合と同等以上の換気が確保されるものとして国土交通大臣が定めた構造方法を用いる(H15国交告274号)もの、または国土交通大臣の認定を受けたものを含む

